■ワールド・カフェとは？

Juanita Brown（アニータ・ブラウン）氏と David Isaacs（デイビッド・アイザックス）氏によって、1995年に開発・提唱されました。当時二人が、知的資本経営に関するリーダーを自宅に招いた話し合いの場において、ゲストがリラックスしてオープンに生成的な話し合いを行えるように、様々な工夫を凝らした空間で話し合いを行った結果、創造性に富んだダイアローグを行うことができたことが始まりとなります。

その後、想像できないほど多くの知識や洞察が生まれたことに感銘を受けた二人が、その経験から主体性と創造性を高める話し合いのエッセンスを抽出してまとめたのがワールド・カフェです。

「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの手法です。

自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な立ち場で、相手の意見を聞きつながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる場の一体感を味わえます。

本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、気楽に･･･

ざっくばらんに対話を繰り広げます。

メンバーの組み合わせを変えながら、４～6 人単位（今回は会場の都合で 6 人）の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られます。

＜参考図書＞ワールド・カフェ～カフェ的会話が未来を創る～

アニータ・ブラウン　デイビッド・アイザックス　著　香取一昭　川口大輔　訳

テーマ：新山口駅表口広場でこんなことが出来たら！こんな場所があったら！についてアイデアを出し合いましょう！

■目的

多くの人は、硬い雰囲気で話すよりも、ゆったりとして肩の凝らない場の方が話をしやすいものです。「カフェ」のようなリラックスした雰囲気で、気楽に、でも真剣味ある話ができる場・・・・それがワールド・カフェの場です。

ワールド・カフェは、参加者が本当に話し合いたいテーマについて、自由に意見を出し合い、お互いの思いや考えの背景について探求し、相互理解を深めることを目的としています。急いで問題を解決したり結論を出したり、終わった後に合意形成ができていたりすることが目的ではありません。

新しい駅空間のつくり方について、これまでの考え方だけではなく自由な考え方でアイデアや意見を出し合いましょう

・参加者全員に自由に意見を言ってもらいたい
・いつもと違う雰囲気でじっくり話し合いをしたい
・駅を利用する立場の人だけでなく、多くの見方やとらえ方で意見を集めたい
・駅前広場を含む駅空間で、こんなことが出来たら！こんな場所（施設）があったらと思うことについて自由に意見を出し合いましょう！

それによって、今回参加していただいた市民の方々の新山口駅の整備に対する意識も高まり、安全で快適で、いつも賑わいの絶えない新しい駅のかたちを、みんなでつくっていきましょう！

■ワールド・カフェのエチケット

普通のカフェにも、「禁煙席では喫煙をしない」等のエチケットがあるように、ワールド・カフェにもエチケットがあります。和やかな雰囲気の中で自由に対話ができるよう、参加者に伝えましょう。

・対話を楽しむ

結論を無理にまとめる必要はありません。その場に出てくる話と、参加者との対話を楽しみましょう。

・話をよく聴く

話すばかりではなく、他の人の話によく耳を傾けましょう。

・"質問"して広げる

分からないことや理解できないことは質問してみましょう。質問することで理解が深まり、対話が広がります。

・否定しないで、受け止める

議論の場ではありません。多様な意見を受け入れ、それに触発される自分自身を楽しみましょう。

・リラックス

正解はありません。間違いもありません。一人ひとりの発言が誰かの気づきや新たな視点の発見に繋がります。リラックスして話しましょう。

■ **ステップ2** **進行方法**

テーブルリーダー（ホスト）は、宿屋の主人または女将！参加する皆さんは旅人です！

●ラウンド1・・・ココから出発し旅から戻ってくるテーブル(6 名)

〇まずは同じテーブルのメンバー同士で自己紹介をしてもらいましょう。・・・**3分**

お名前（ニックネーム）・職業（仕事の内容）・そして「最近嬉しかった出来事」

一人が話し終わったら拍手をしてあげると歓迎ムードも高まります！

〇新山口駅表口周辺で、こんなことが出来たらいいな！あるいは、こんな場所があったらいいな！
と思うことを自由にポストイットに書き出してもらい、
具体的に、それぞれの具体的なイメージなど交えながら一人ずつ発表してもらいましょう。
「こんな使い方もあるんだ～！」、「そんな場所があったらふらっと立ち寄ってみたいな！」
「こんなことが出来たら観光に来た人も嬉しいだろうな」、「ﾌﾑﾌﾑ・・・」
出てきたアイデアについて、思い思いに自由に語り合っていただきます。思い･気づき･驚き・・・
緑のポストイットにどんどん書き込んでもらい、テーブルの模造しに貼ってもらいます。
まとめる必要はありません。皆さんに遠慮なく語っていただける場づくりが大切です。

・・・30 分

●ラウンド･チェンジ1・・・旅立ち！次のお宿へ 「行ってらっしゃ～い」

各テーブルにリーダーが一人のこり、他のメンバーは他のテーブルへ移動します。
（テーブル移動の際には「他のメンバーに御礼を言って別れましょう」などと促すことで、事務的なメンバーチェンジを避け、最後まで温かい雰囲気のまま場を終え、次につなげることができます）

●ラウンド2の開始 「いらっしゃいませ！」

全員が席に着いたことを確認し・・・

〇新しい旅人たちと自己紹介・・・**3分**

〇テーブルリーダーはこのテーブルで、旅立って行ったみんなから出た思い･アイデア･気づき･驚き・・・を新しい旅人にお話しする。

〇新しい旅人は、それぞれ前のテーブルで出された意見を参考に、テーブルに残された意見に検討を加え（他花受粉）、テーブルリーダーの進行でさらに意見を掘り下げていきます。
気づきや思いは黄色のポストイットに書いていただきます。

・・・20 分

他花受粉： ワールド･カフェではラウンドごとにメンバーを入れ替え意見を重ねていく様を、こちらの花粉をあちらの花へ持っていく「みつばち」に例えて「他花受粉」と呼びます。

●ラウンド・チェンジ2・・・旅立ち！次のお宿へ 「行ってらっしゃ～い」

●ラウンド3の開始　「いらっしゃいませ！」

〇自己紹介～繰り返し　　水色のポストイットに記入

・・・20 分

●ラウンド・チェンジ3「おかえりなさ～い！」

●最終ラウンドの開始

〇「どんな旅でしたか？」「どんな意見が出ていましたか？」「さらに新山口駅の魅力づくりのアイデアは出ましたか？」など・・・みんなが旅で学んだことや感じたことを一人ずつ発表していただき、新山口駅でこんなことが出来たらいいな！新山口駅にこんな場所があったらいいな！について考えを深めましょう。新しい意見は、最初に使った緑のポストイットに記入してください。

・・・20分

■ **ステップ 3　全体共有**

〇テーブルリーダーによる発表

全ラウンドが終了したら、全体で出された意見を共有をします。

各テーブルで出されたアイデアやイメージを発表していただきます。

・・・各グループ３分（1分前・30秒前・終了と、タイムキーパーがお知らせいたします。）

休憩をはさみ、一人ひとりがゆっくりと自分の中で振り返る時間をもってもらいます。

全体の発表を聞いて、自分の意見を再考し、出されたアイデアやイメージを総合して、新山口駅でこんなことが出来たらいいな！こんな場所があったらいいな！と思うものの中から最も重要だと思うものを1つ、各自で決めてピンクのポストイットに記入してください。そのポストイットを、全体の場で張り出し意見の共有を図ります。

このプロセスにより、自分の中で起こったことの確認や、各テーブルでの対話の共通点や差異の発見につながります。また知恵とアイデアを拡大することもでき、さらなる気づきを促すことにもなります。